

生涯学習サポーター養成コース

生涯学習サポーター養成コースは、これから地域のいろいろな分野でボランティアとして活動していただく方を養成するためのコースです。毎年テーマを決めて募集しています。このコースを修了すると生涯学習サポーターとして中央区に登録し、ボランティアとして活動していただくことになります。これまでに、文化財サポーター、生涯学習コーディネーター、区民メディアリポーター、よみきかせボランティアが卒業し、まち案内や郷土天文館の展示ガイド、講座の企画、区民情報番組の制作、図書館でのボランティアなど活動の場を広げています。

生涯学習サポーター養成コース 2年生

コース生の募集は終了しています

◆聞き書きボランティア養成講座

主 題 「聞き書き」とは、「お年寄りの話を聞いて、それを記録し、後世に残すこと」です。様々な人の生きてきた証を記録し紡ぐことで、教科書では語られない地域の歴史を保存します。聞き手は、語り手の人生を聞き、文字に起こすことで様々な気づきと学びを得られます。

時 間：午後2時～4時
場 所：築地社会教育会館
回 数：5回（後期）

2年目の講座では、1年目で学んだ基礎を踏まえて、より実践的な聞き書き活動に入ります。1冊の聞き書き本の完成を目指します。

講座修了後は、郷土天文館において、地域の歴史・文化の記録を後世に残していく「聞き書きボランティア」として活動していただきます。

回数	日程	講義内容	講師名
第6回	9/24 (木)	聞き書き作品における原稿・編集のルール	小田 豊二 秋山 希美子
第7回	10/ 8 (木)	校正・校閲実践教室	
第8回	10/22 (木)	タイトルのつけ方、まえがき・あとがきの書き方	
	11/ 5 (木)	原稿締切	
第9回	12/ 3 (木)	全作品講評 / 今後の活動予定	
第10回	2/ 4 (木)	完成発表会	

講師紹介

小田 豊二 (おだ とよじ)

編集者・作家。1945年旧満州ハルピン市生まれ。早稲田大学第一政治経済学部卒業。出版社・デザイン事務所を経て、作家故井上ひさし率いる劇団こまつ座創立に参加。機関紙「the 座」前編集長。

日常の編集業務のかたわら、20年前より「聞き書き」の活動をはじめ、日本聞き書き学会講師として、全国を飛び回る。聞き手としてインタビューした人数は1,500人を超える。NHK「視点・論点」出演、国民文化祭り演劇シンポジウムの司会など各分野で活躍中。趣味は長唄三味線。

著書に『勘九郎芝居ばなし』（朝日新聞社）、『聞き書き 横濱物語』（集英社）、『柄本明 東京の俳優』（集英社）、『書くための「聞く」技術』（サンマーク出版）、『「聞き書き」をはじめよう』（木星社）など多数。

秋山 希美子 (あきやま きみこ)

日本聞き書きボランティア協議会代表。2003年「日本聞き書き学会」養成講座を受講。聞き書き活動を始める。2004年1月29日付朝日新聞「いのち」欄に活動を紹介される。以後毎日新聞、東京・中日新聞、NHK「生活ホットモーニング」ほか各種メディアに活動が取り上げられる。これまでに作り上げた「聞き書き本」は100冊以上。

平成27年度の生涯学習サポーター養成コース生の募集は終了しています。区民カレッジ各コース生の募集は例年、広報ポスター（2月1日号）、広報紙「区のおしらせ 中央」（2月11日号）で行います。